

■「効果の見える治水事業」

□徳島県における土砂災害に対するソフト対策



徳島県土整備部 砂防防災課長 湯浅 博幸 ゆあさ ひろゆき

本県においては、これまでに数多くの土砂災害により尊い生命や貴重な財産を失っており、平成16年8月の台風10号による被害は、まだ記憶に新しいところです。今年については、県南を中心として20件の土砂災害が発生しましたが、幸運にも大規模な災害には至っていません。

土砂災害対策については、砂防えん堤や急傾斜地崩壊防止施設等のハード整備を計画的に進めています。整備の完了までには長期間を要することから、警戒避難体制整備等のソフト対策が従来にも増して重要になっています。

本県のソフト対策としては、土砂災害防止法の推進と土砂災害に関する啓発活動等を行っております。土砂災害防止法の推進については、土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定、市町村への警戒避難体制整備の支援を実施しています。区域指定の進捗は、平成20年11月末時点で、土砂災害危険箇所13,001箇所内、土砂災害警戒区域180箇所、特別警戒区域80箇所であり、更なる指定の促進を図る必要があります。課題としては、基礎調査実施箇所数や指定に際して開催する地元説明会回数の増にあるため、基礎調査費の見直しによるコスト削減や説明会の対象となる範囲の拡大による効率化等により、指定の促進を図りたいと考えています。また、市町村への警戒避難体制の整備については、先進事例や県が持つ情報を提供する等の支援を行うことにより、促進を図りたいと考えています。

次に、土砂災害に関する啓発活動については、土砂災害警戒区域指定に際しての地元説明会において、基礎調査結果に加えて、土砂災害防止法や土砂災害に関する説明を行っているほか、寄り合い防災講座への参加やシルバー大学のカリキュラムに「土砂災害に対する防災対策」を組み込んでもらう等、一般住民の方に直接、土砂災害の特徴や実態、県の取り組み、早めの避難の重要性等についての説明を積極的に行っています。

また、今年で3回目を迎えた「土砂災害に対する全国統一防災訓練」については、平成20年6月1日に県内関係21市町村の内、13市町村(平成19年度は5市町)が参加して情報伝達訓練を行い、情報伝達手段や経路の確認、適時適切な避難勧告の発令等についての確認を行いました。また、勝浦町では、地元住民、自主防災組織及び防災関係機関が参加して、避難場所への避難、自主防災組織による避難住民の確認、消防団によるパトロール等の本番さながらの避難実地訓練を実施し、土砂災害に対する防災意識の高揚に努めました。

ソフト対策については、試行錯誤を繰り返しながら実施していますが、今後とも、ハード整備と連携しながら、土砂災害による死者ゼロを目指して取り組んでいきたいと考えています。



土砂災害防止法
地元説明会状況



H20 災害事例
(美波町)

談話室

□「土砂災害に対する全国統一防災訓練に参加して」



勝浦町長 中田 丑五郎 なかつた うしごろう

勝浦町は、徳島県の南東部に位置し、山裾に開けたみかん畑、平野に広がる田園風景、そして、まちの中央を流れる勝浦川という豊かな自然に囲まれ、2,155世帯、人口6,165人(H20.10末住基)が住み、年平均気温16℃前後、年間降水量2,200mm前後と比較的温暖多湿な気候を呈しており、みかんは古くからその産地として、また、勝浦川は、鮎釣りのメッカとして県内外に知られています。

本町においては、歴史にその名を残すような大規模な土砂災害は、幸いにも発生していませんが、毎年のように小規模ながけ崩れ等は発生しており、農業活動や住民生活などにも様々な影響が出ています。また、町内には、土砂災害危険箇所294箇所があり、今後も土砂災害が発生する可能性がありますので、がけ崩れ対策や砂防えん堤等のハード整備はもちろんですが、警戒避難体制の整備をはじめとするソフト対策についての重要性を認識しているところです。

この一つとして、平成20年6月1日の「土砂災害に対する全国統一防災訓練」に参加し、今山地区の住民及び自主防災隊、消防団等の約80名により、住民の避難、自主防災隊による避難住民の確認、関係機関によるパトロール、防災講座等を実施しました。住民からは、防災意識の向上や危険箇所の再確認等において効果的であったとの声があった反面、普段からの危険箇所の周知や豪雨時の情報提供について役場や県に期待する声もありました。

このため、町としては、住民との協働により、自主防災隊の結成促進、土砂災害警戒区域における警戒避難体制の整備、土砂災害警戒情報の避難勧告基準への活用等のソフト対策の促進を図ります。

また、県道整備などにより、四国霊場第20番札所の鶴林寺、毎年恒例のビッグひな祭り、みかん狩り等への観光客数が年間を通じた増加が見込まれますので、住民や本町に来られる方のため、より一層の土砂災害対策に取り組み、「誇りを持って、夢や希望を語れる郷土勝浦」の実現を目指したいと考えています。



避難訓練実施状況



ビッグひな祭り